

サーフィン新聞

発行：サーフィン新聞編集部（毎月第1・3月曜日発行）
〒297-0008 千葉県茂原市渋谷1016-12
Mail: agree-sys@excite.co.jp
HP: http://surfingnews.seesaa.net/auth/article_preview/

本紙編集部提供の

週刊芸術新聞

美術館・博物館・ギャラリー
の情報満載で人気上昇中！



週末ともなれば大会以上に賑わう会場風景



2020年東京五輪・サーフィン会場に決定して以降、「五輪会場に決まった釣ヶ崎海岸で、一度はサーフィンをした...」という願望が強いサーファーたちが急激に増え続け、会場決定発表以来、関東エリアのみならず、中京・関西からのサーファーたちが目立つようになった。それは駐車

他県ナンバーの車が目立つ！

2020年東京五輪のサーフィン会場が、千葉県・釣ヶ崎海岸決定以降、一度は五輪会場で体験したいサーファーで週末大賑わい。

2020年五輪サーフィン会場決定以降、釣ヶ崎海岸は嬉しいチャレンジャーで大賑わい！



場に停まっている車ナンバーをみると、地元の千葉ナンバー・袖ヶ浦ナンバーより多い。名古屋から来たというサーファーは、「さすが五輪会場に選ばれるだけあって、恵まれた波と雰囲気が大いにしたりました」と満足顔で話してくれました。週末ともなれば、駐車場が狭いので溢れる心配が発生しそう。

Ⅱ2面に続くⅡ

次号は
3月6日発行

人気ウエット スーツ

ウエットスーツでは信頼のブランド・レイトラップは、サーファーたちの憧れの的となっています。お近くのサーフショップからお申込み下さい。

■有限会社レイトフ
オーラップ（千葉県山武郡九十九里町片貝1716の4） 電話...
0475（76）7978

CHP

CHP（シーエイチピー）カルホルニアハワイプロモーションは、サーフボードメーカー、及びサーフィン関連商品の販売で、千葉県一宮町九十九里海岸沿いにあるメーカー直営のサーフショップで、本店の前が人気サーフポイント。
■CHP本社（千葉県長生郡一宮町東浪見7428の3） 電話
0475（42）4626

今後の課題も山積

＝1面からの続き＝

そんな東京五輪・サーフィン会場決定まではかなりの格闘があったようです。地元サーファーでもありサーフィンショップのオーナーでもある一宮町議会議員でもある鶴沢清永氏の奮闘努力があったことは歪

めない。とくに一宮町町議会議員の肩書もあり、役場や組織委員会との折衝を担当してくれました。



多くの一般サーファーの鶴沢議員も、一度会場となる約ヶ崎海岸で五輪前に体験して見るのも、貴重な体験になります

今後の釣ヶ崎海岸の整備など難題が山積している中で、一層鶴沢議員には頑張ってもらいたい方向

本紙でも東京五輪・サーフィン関係を随時掲載する予定です。



一宮町のホームページでも会場決定を報告

九十九里沿岸の波情報

本須賀俱樂部提供はワンダフル！



安定感と信頼度に集中！

九十九里沿岸でサーフィンをするサーファー向け「波情報」は、「本須賀波乗り俱樂部千葉淳哉部長」が毎日早朝に取材提供しているホームページは、詳細な波情報に加え写真20枚ほどを必ず載せて、多くのサーファーからとても参考

になるとアクセスがアップしているようです。普通は定期的なことや、一時的な掲載が多い中で、年間を通して毎日取材・掲載していることは「ワンダフル」の音が本紙編集部にも届いています。素晴らしく信頼できる波情報を得て、九十九里沿岸でのサーフィンに挑んでみては如何でしょうか。

KAWAI SURF GALLERY & SURF BOARDS

◆千葉県鴨川市横浪
135-1 TEL: 0470 (93) 1173
月曜日休み

Simple Surf

〒299-4303
千葉県長生郡一宮町東浪見7501-1
TEL: 0475 (42) 3399
年中無休

福地孝行プロのショップとして人気！

◆ROOTS (千葉)
県山武郡九十九里町片貝字浜6902
TEL: 0475 (76) 7379

熟年ライダー47年間の心明かす サーフィンで得た今後の人生！坂本和總さん

18歳からサーフィンを始めてから47年間、通いに通ったのが「九十九里」の波が最高で大好きですね。」と話す坂本和總さん（65歳）に直接インタビューをお願いし、好きなうちの「一宮海岸でお聞きしました。」

定年退職のサーファーは余裕！

お会いした瞬間、緊張した顔つきだったが、サーフィンの話を始めるや否や、すぐに爽やかな表情に変わり「いま多くのサーファーが海に入っていますが、ちよつと物足りない波なので、今日のサーフィン撮影はムリでしょう」とサーフィンの撮影はキャンセルし、飯田健二カメラマンに

手配（右側二枚の写真）してもらったのは顔の広さを物語っています。

こんな雰囲気になんか話をしてくれた坂本和總さん（さかもとかずふさ 65歳）は、生まれは、湘南海岸の茅ヶ崎市でサーフィンを始めて、いつしか「波のいい房総」が好きになるようになり、現在は仕事（営団地下鉄Ⅱ現在のメトロ）をめでたく定年退職となつて、のんびりと時間に追わ

れず思い切りエンジョイしている現在は、「暇を持て遊ぶより好きなサーフィンに人生を掛けているんです」と滑らかな口調に力が入ってきた。さらに、「一般的に言うサーフィン三昧」のうちいまは3割程度を満喫しているのが一番いいのではないのでしょうか」と、人生設計の余裕を示す一部を述べてくれたところは、さすが定年退職の経験者ではないと話せないで

しようか。

「ヒマができたからとサーフィンにあまり深くのめり込むと、世間の一般の人々から見るとよくないことは十分心得ているのであせらずに：ゆつくりと：のんびりと：いつまでも：を心に誓い、今後はサーフィンで得た厳しさ、楽しさに、思い切りチャレンジしていきますよ」。

Ⅱ 4面に続くⅡ



↑ 写真提供：飯田健二カメラマン ↓



SMUG

サーフィンとスノーボードの専門店。お気軽にご相談に応じております。ぜひご利用下さい。
◆千葉県茂原市高師3 11 9
TEL: 0475 (26) 266 6
6 水曜日休み

H&L

◆東京都江戸川区東葛西1 3 3
TEL: 03 (367) 333 6
5

ロングボード・中島勝之
プロショップ ロング
ボードはお任せ！

◆千葉県山武郡九十九里町不動堂450
TEL: 0475 (70) 4811

「バリ島の波にサイコウ」

Ⅱ 3面から続きⅡ

「それでも、年に一回はバリ島へ遠征してサーフィンをするのが、現在の唯一の楽しみにしているんです」と、しみじみ脳裏に浮かぶバリ島を思い出しながら語ってくれる坂本さんの表情は砕けつぱなし。

「とりあえず」日本と違う波質に出会うことができ、サーフィンの憧れとして挑む精神を叩き込んでくれる高・さいこう・サイコウ」

「国内では九十九里沿岸の波もそれなりに楽しめさ



き、サーフィンの憧れとして挑む精神を叩き込んでくれる高・さいこう・サイコウ」

な表情・口調は変わらず滑らかに語ってくれ、”いいおやじさん”の印象を最後まで通してくれ、久しぶりにインタビューの濃さ得ることができ感謝したいほどだった。



良き仲間の栗原さんと

編集後記

◆今年の天候は全国的にも不安定さを呈していて、とくに海の自然に直面するサーファーの皆さん方は波の乱れに”右オー・左オー”させられ、苦勞の連続が続いているようでした。あちこちのポイント取材に行くたびに「波の乱れがひどいですよ」、これも天候のせいでしょうか」と、同じような言葉が必ず飛び込んできました。

◆2020年 東京五輪のサーフィン部門が開催される千葉県・釣ヶ崎海岸には、「オリンピック会場となるポイントでぜひ乗りたい気持ちを全面に出して、関東近辺や

遠くは中部地区のサーファーが目立っていました。車のナンバーを見るだけで地元千葉より多いことに驚きを隠せませんでした。

◆本号はそんな五輪会場での体験サーファーファンと、シルバーサーファアの健闘インタビューを特集させて頂きましたので、ぜひとも参考にしながらお読み下さい。